

美術科学習指導略案（第1学年A組 男子8名、女子21名）

平成30年9月26日(水) 4限

授業者：藤本喜久

- 1 単元名：色の整理
- 2 単元：グラデーション
- 3 本時のねらい：『色のグラデーション制作を通して、絵の具の配分を理解し、美しく塗り分けることができる。』
(造形的な視点・創造的な技能)
- 4 準備物：デザインセット、グラデーション見本
- 5 本時の学習過程（第2時／全4時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】(方法) ※手立て
身の回りで「色の移り変わり（グラデーション）」を感じるものを考える。 ・空、海、山・・・	・教師の体験談を交えて興味・感心を持たせる。
めあて：平塗りでグラデーションを美しく塗り分けよう。	
前時を振り返り、平塗りで美しく仕上げるポイントを確認する。 〈ポイント〉 ○水の量加減 ○輪郭から塗り始める（平塗り） ○明るい色に濃い色を加えて調整していく ○色が段階的に変化するように	・前時の作品を見直し、できしたこと・できなかつたことを確認させる。【共有化】 ・見本を見せる。【視覚化】 ・色を指定し、どこから塗り始めるのが効果的なのかを考えさせる。【焦点化】 ○積極的な発言
制作手順を考える。 ・端から順番に塗る。 ・真ん中の色を先に決めるといいんじゃないかな、など。	※机間指導
実技制作	

山場：
 ・なるほど、白に黒を加えるとすぐに灰色になる。でも黒に白を加えてもあまり灰色の変化を感じにくいな。つまり白は弱く黒は強いんだ。だから白（明るい色）に黒（暗い色）を混ぜていく方が色の微調整がしやすく、灰色の段階を細かく作れるんだな。
 ・なるほど、色を等しく段階的に変化させると、こんなに美しいグラデーション表現になるんだ！

よくできた友だちの作品を見る。【共有化】

別の色でもグラデーションを表現してみよう。

片付け

<めあての評価>

○平塗り技法を使って色の変化を均等で段階的に美しく表現できる。

<ねらいの評価>

○効果的な手順を考えて制作することができる。